

0509	● 一方、 <small>しなのし</small> 信濃路をずっと南に下ってやって来た長野県 <small>ながのけん</small> 下條村。
0522	● ここでは山あいの地形と豊かな土壌を生かした農作物が毎年作られています。
0531	● 農家の皆さんは、まだ涼しい午前中のうちに効率よく仕事を進めます。
0541	● 近藤三郎さんもそんなお一人です。
0553	● この日、畑に撒くのは長野県の代名詞、信州ソバの種です。
0620	(NO) ● 耕しては肥料を入れるという作業を三回繰り返していよいよ種まきです。
0628	● 種まきの仕方は色々ありますが、近藤さんはこの手動方式が一番やりやすいと言います。
0645	● 「何事もなく育ってくれよ」と願いを込めて。
0657	● 下條村の山の麓。 緑生い茂る神社の片隅に小さな小屋がひっそりと佇んでいます。
0713	● 三百年近い歴史を持つ下條歌舞伎。 ここは、村内に残る最も古い舞台です。
0734	● 舞台の裏側には、大正時代の上演記録も。
0743	● 芝居が何よりの娯楽だった当時のさわめきや、

0800	● 太陽が山の向こうに姿をかへし、人々が夕餉の食卓を囲む頃。
0811	● 下條村役場の脇にある村民センターでは 地芝居の心意気が受け継がれようとしています。
0820	● 今夜は週に一度、下條歌舞伎の稽古日です。
0827	● 昼間の仕事を終えた面々が集まって、読み合わせです。
(NO)	(NO)
0846	● 一年に一度、十一月の下條歌舞伎の公演に向けて 稽古はまだ始まったばかり。
0904	● まとめ役はこの方。 下條歌舞伎保存会の、齋藤充さんです。
0915	● 総合演出は下嶋昭二さん。
(NO)	(NO)
0942	● 今年一月、長年、活動の中心にいた大きな支え 小池恒久さんを失った下條歌舞伎保存会。 今回の舞台は彼らにとって 新たな船出となります。
(NO)	(NO)
1013	● ここでは幼い頃から歌舞伎が身近な存在として 親しまれています。
1118	(NO) ● 三か月後の本番に向けて この日の稽古は深夜まで続きました。